

『教職実践演習』に関する研修会が開かれました

「教員養成コンソーシアム四国」では、連携3大学間で『教職ポートフォリオ』の作成・活用についての共同研究を進めており、8月7日(土)高松大学にて上越教育大学 教授 釜田 聡 先生をお迎えし、「教職キャリアファイル」、「教職実践演習」に関する研修会を実施しました。

高松大学教職員 30名、他コンソーシアム関係者 13名、合わせて 43名が参加しました。

今回、上越教育大学における「教職実践演習」試行 4年目となる実績を踏まえて「教職キャリア教育による実践的指導力の育成」をテーマに、ご講話をいただきました。

- ・上越教育大学スタンダードについて
- ・フレンドシップ事業の概要について
- ・教育実習の体系とルーブリックについて
- ・教職実践演習の試行4年目と今後の展望について
- ・「教職キャリアファイル」の活用について

等々具体的事例を示されながら、丁寧に説明していただきました。

短期大学では、本年度1年生を対象に実施されますし、保育士に関しても同様の科目が必修化されるようです。実施に向けたシラバス作りや演習内容の具体化が急がれています。「教職実践演習」の成否は『教職ポートフォリオ』の活用には掛っているとんでも過言ではありません。高松大学としても早々に委員会を立ち上げ、導入に向けて検討していきたいと考えています。



講話の様子



質疑・応答の様子